

石川県内には、数多くのNPOが活動しています。このコーナーでは、県内のNPOのリーダーにインタビューし、その特色や現状などをシリーズで紹介いたします。今回は小松市内のNPO団体が共同で運営するNPO支援交流施設、「こまつまちづくり交流センター」の会長を務める久保信二郎さんにお話をうかがいました。

「市民がNPO活動に関心を持つ きっかけの場にしたい」

こまつまちづくり交流センター会長 久保 信二郎さん

利用者自身が運営することで きめ細かなサービスを提供

——こまつまちづくり交流センターとは、どのような施設ですか？

久保 小松市内のNPOに活動と交流の場を提供する施設として今年4月にオープンしました。場所は小松運動公園の近くにあるNTT工事センターの2階です。会議室や談話スペースなどを設け、印刷機やコピー機といった設備も整えています。

——複数のNPO団体が構成する委員会が運営と管理を行っているそうですが。

久保 平成12年、小松市で「2000年ジュニア国際文化祭～こまつが地球になる日」が開催され、国際交流や環境など幅広い分野の地元NPOが多数参加しました。それをきっかけに団体間の交流が始まり、NPO同士が手を携え、協力して地域に貢献しようという機運が高まったのです。ちょうどそのころ、市でNPO支援施設の設置構想が持ち上がり、NPOと行政の思いが一致して、双方の協議の場が設けられた結果、市が施設のハード面を整備し、私たち運営委員会が委託事業としてその運営・管理を担当することになりました。

——NPO自身が支援施設を運営するメリットは？

久保 やはり、利用者の視点でニーズにあわせた対応ができる点にあると思います。当センターでは、団体や個人が運営協力金（団体：幹事会員5000円、登録会員2500円。個人：幹事会員2000円、登録会員1000円。いずれも年間）を納めることで、だれでも運営委員会の会員になれます。例えば、少人数でのちょっとしたミーティングなら、談話スペースを無料で利用できるようにしていますし、センター内での飲食も自由にするなど、

柔軟な考え方で支援できるのが強みです。利用時間も夜10時までとしています。

◆ これからのNPOには 「自立」が求められている

——反対に、現在抱えている問題点は何でしょう？

久保 利用者は今のところ月に500人程度で、まだまだ少ない数字です。センターの存在が、市民の間に十分に浸透していないように感じます。会員はもちろん、一般の方でもふらりと立ち寄ってもらえるようにするためには、もっと工夫が必要だと感じています。

——利用拡大のための対応策は？

久保 オープン1年目はまず足元を固める意味で、施設や設備の充実、管理や運営のルール決めに優先してきました。2年目以降は、企画や情報発信に力を入れていきます。去る8月にNPOの活動を広くPRし、参加団体同士が交流を深めるイベントとして、夏の交流フェスタを開催しましたが、これからもそのようなイベントを積極的に実施します。また、毎週土曜日に講座を開き、委員会の各団体持ち回りで環境問題や国際事情に関する話をしたり、NPO活動のノウハウを解説するなど、定期的な活動も行っていく予定です。

——今後、久保さん自身がセンターに期待する点は？

久保 現在活動している団体への支援ももちろん大切ですが、それ以上に、センターは一般の人とNPO活動をつなぐ窓口でありたいと思っています。日々の活動を通して、市民の皆さんにNPOについて知ってもらおう。それをきっかけに、1人でも多くの方がNPO活動に関心を持って参加してくれるなら、これほどうれしいことはないですね。

P R O F I L E

■ 久保 信二郎さん

(くぼ しんじろう)



寺井町在住。NPO主催の環境問題に関する講演会に参加したのをきっかけにNPO活動に関心を持ち、平成8年、環境NGO「地球村」の一員に。現在はその代表を務める。こまつまちづくり交流センターの運営には「地球村」メンバーとして参画し、会員団体の代表として、開所と同時に運営委員会会長に就任した。

【お問い合わせ】 こまつまちづくり交流センター
小松市向本折町二18-1 (NTT工事センター2階) TEL0761 (25) 1010

※この冊子は再生紙を使用しています。

いしかわ

NPO

ニュース

[特集]

平成14年度NPO協働推進モデル事業
中間報告(5団体)

● INFORMATION

県からのお知らせ
NPO・ボランティア情報
助成金ニュース

● リーダーズVOICE

こまつまちづくり交流センター会長
久保 信二郎さん

つながる、
ひろがる、
ふれあう。



夏の交流フェスタでは、センター内にNPO活動の展示ブースを設置

石川県

URL <http://www.ishikawa-npo.jp>

県とNPOとの協働が 少しずつ前進。 成果に期待大!

NPOと行政との協働を推進するため、県では今年度公募方式によりNPOから事業の企画案を募集し、応募のあった26件の中から、福祉、環境、教育、男女共同参画の4分野・5件の事業を採択しました。NPOと行政とがより一層緊密になるためのモデル事業が、どのような内容でどのような成果を上げつつあるのか、報告します。



NPO法人 菜の花

〈金沢市〉

代表者/岩田 京子 お問い合わせ/076(240)0069

事業名 絵本や紙芝居による幼児の痴呆性高齢者へのいたわりの心を育む事業

実施事業 七尾市、羽咋市の市街地でグループホームを開設するに当たり、地元幼児の痴呆性高齢者へのいたわりの心を育むため、痴呆性高齢者を題材とした絵本や紙芝居を作成し地元読書会等のボランティアの協力を得て、保育園等で絵本の読み聞かせや紙芝居の上演を行うとともに、幼児の心の動き等を保育園関係者にアンケートし、報告書にとりまとめ関係機関に配布する。

期待される効果等 核家族化で世代交流の少ない幼児の痴呆性高齢者に対するいたわりの心を育む。地域に根ざし、開かれたグループホームを運営していくための第一歩ともなる。

経過報告 痴呆性高齢者と子どもとのふれあいを題材にした絵本と紙芝居の制作をプロの絵本作家と印刷会社に発注しており、1月中旬から末にかけて完成する予定。協働推進モデル事業に選ばれたことで、プロの手による質の高い制作物を用意できそう。

その後、仕上がった絵本と紙芝居を用いた読み聞かせの活動に移る。2~3月にかけて、七尾市と羽咋市の保育園など計20カ所を実施の予定。子どもたちに痴呆性高齢者に対する理解を深めさせ、いたわりの心を育てていく。また、その際の子どもの様子を保育園関係者にアンケートし、3月に報告書をまとめる。

高齢者の問題に、子ども側からアプローチする発想は、縦割り組織の行政にはないもの。NPOならではの自由な考え方を行政が生かしている点に協働のメリットがある。



非営利活動市民団体 はづちを

〈加賀市〉

代表者/永井 隆幸 お問い合わせ/0761(77)8270

事業名 高齢者によるコミュニティレストラン開設事業

実施事業 加賀市から運営委託を受けている「加賀市高齢者生きがいプラザ・はづちを楽堂」を活用し、地域の高齢者をスタッフとするコミュニティレストランを開設し、高齢者や地域の欠食児童に対する朝食給食サービスを実施する。

期待される効果等 高齢者の社会参加の促進、高齢者同士で気軽に立ち寄れる憩いの場・情報交換の場づくり。欠食児童に対する給食支援を通じた子どもの健康づくり。

経過報告

「はづちを楽堂」でのコミュニティレストランのオープンを目指し、12月までは東京・国分寺にあるコミュニティレストランなど先進地事例の調査・研修が中心。アワ・キビなどの五穀を使ったエコクッキングなども学んだ。3月から、高齢者や児童向けの朝食を用意する。

温泉地という特殊な事情から、保護者と朝食を食べられない子どもが山代には少なくない。欠食児童もいる。そうした子や独居老人などへの給食支援を通じて、子どもやお年寄りの健康維持に貢献する。同時に、スタッフとしても高齢者に「はづちを楽堂」の事業に参加してもらい、社会参加によるいきがいつくりにも生かしたい。

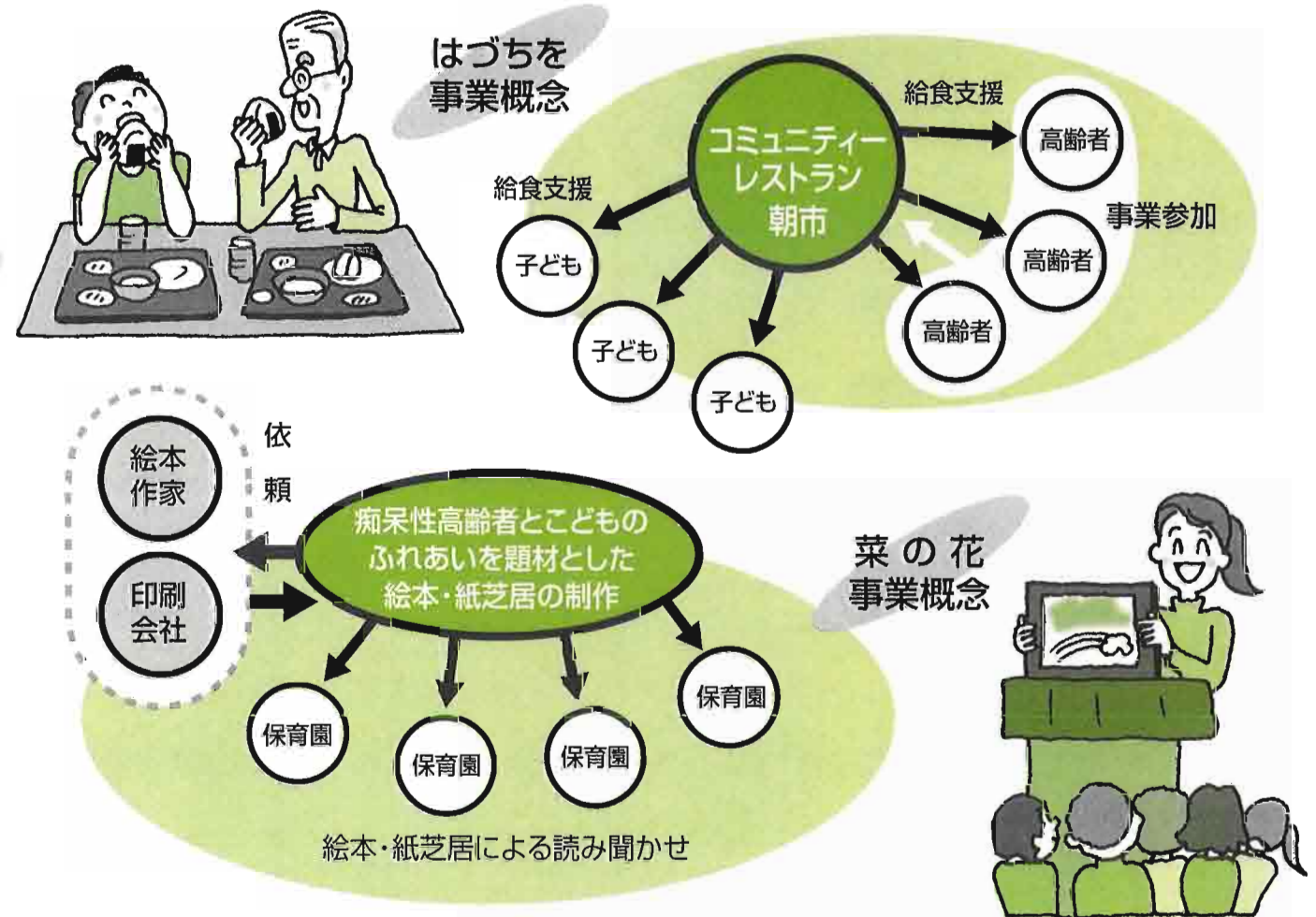
運営面では、食材の地産地消にもこだわりたい。4月以降の第1・第3日曜日には、地元産の野菜を揃えた朝市もスタートする予定。



■五穀定食



■国分寺のコミュニティレストランでのミーティング





環境



石川県くらしと環境を考える会 〈金沢市〉

代表者/千原 好美 お問い合わせ/076(252)4211

事業名 ローカルアジェンダ地域推進事業 (地球環境サミットの取材及び地域啓発)

実施事業 ヨハネスブルクで開催された地球環境サミットに参加し、世界のNPOの活動や提案を直に取材、帰国後報告レポートや啓発ビデオを作製し、広く周知を図る。さらにフォーラム「地球環境サミットの風(仮称)」の開催、会員による環境教育に関する出前講座を実施する。

期待される効果等 地域レベルでの環境保全の取り組みが地球環境の保全に資するものであることの県民への理解を広め、環境に配慮した生活スタイルへ転換することの気運の醸成につなげる。

経過報告 ヨハネスブルク地球環境サミットにメンバー2人が参加。その現地取材をもとにしたビデオレポートと書面でのレポートを作成した。環境フォーラム「ヨハネスブルグ・サミットの風」を去る12月1日にアートシアターいしかわで開催し、制作したビデオレポートの上映や、トークセッション、シンポジウムを行った。今後は、ビデオレポートを教材にした学校などへの出前講座を開いていきたい。

自分たちの取り組みが県の委託事業となったことで、活動に信用を得ることができ、今後の出前講座開催にも協力してくれるところが増えてきそう。

出前講座に限らず、今回、作成したビデオレポートを教材・資料とした、さまざまな啓蒙活動ができる。このほか、委託をきっかけとした県とのつながりを用いたイベントのPRや、環境問題への周知も期待できそう。



環境フォーラム (12月1日:アートシアターいしかわ)



教育



子ども夢フォーラム 〈金沢市〉

代表者/高木 眞理子 お問い合わせ/076(240)0735

事業名 チャイルドラインいしかわ設置運用事業

実施事業 「チャイルドライン」と呼称する、子どもがかける子どものための専用電話(フリーダイヤル)を増設し、悩み・相談の声を聞くとともに、話し相手になる。このほか、子どもたちの声の内容を報告し、子どもたちの置かれている社会的な現状などについて考えるフォーラムを開催する。

期待される効果等 子ども自身の問題解決と人間的成長を促すことで青少年の健全育成に資する。

経過報告 資金面がネックだった電話回線増に踏み切ることができ(1回線から2回線に)、より多くの子どもたちの悩みに耳を傾けることができるようになった。回線の増加は、チャイルドラインの電話の受け手となるボランティアの経験を増す効果もある。

去る11月17日、県社会福祉会館でチャイルドラインに集まった子どもたちの声を報告するフォーラムを開催し、パネリストによる討論会で、現代の子どもたちが抱える問題や置かれている社会状況などについて話し合とともに、そうした問題の存在を広く社会にアピールした。

公益性のあるNPOの事業を県との協働により、広く一般に周知できる点は大きい。行政から協働事業のパートナーに選ばれることで、自分たちの事業の公益性を行政から認められたという安心感が得られた。



フォーラム(11月17日:県社会福祉会館)



男女共同参画



石川おんなのスペース 〈金沢市〉

代表者/深川 明子 お問い合わせ/076(252)5536

事業名 DV劇の公演等によるDVのないまちづくりを考える事業

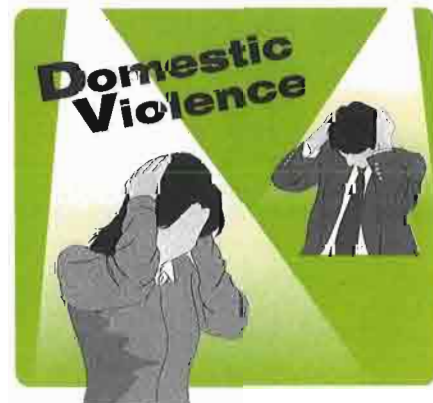
実施事業 オムニバス形式によるDV劇の制作および公演を行うとともに、パネルディスカッションや会場でのアンケート調査(3回/加賀、金沢、能登)を実施し、報告書を作成する。

期待される効果等 観劇、パネルディスカッション、アンケートなど、さまざまな角度からDVの実態について啓蒙、啓発することで、DVに対する理解の促進、防止につなげる。

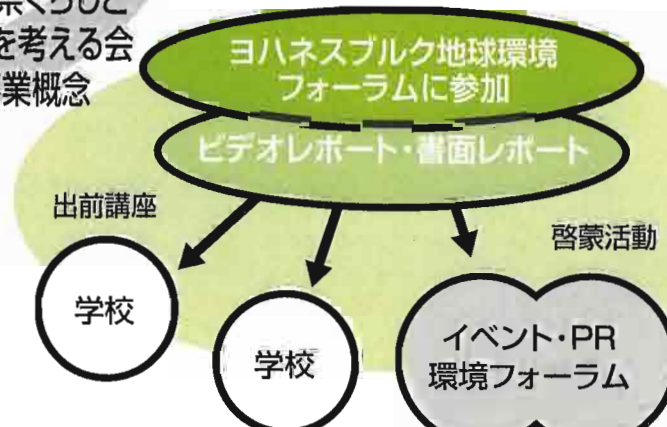
経過報告 3月8日に金沢市の県女性センターでDV劇の上演を予定。そのほか、2月16日、3月2日にもそれぞれ小松市と七尾市で開催を企画。「DVとは何か?」、「2次被害について」、「DV法の実際」の3部構成で、演じるのはプロの劇団員。脚本はNPOと劇団との共同制作。劇のあとにパネルディスカッションも開催する。

DVにかかわる問題を多くの人に訴求する手段として、講演会やシンポジウムよりもDV劇が効果的なのではと考えていた。協働推進モデル事業の採択によって、これを実行に移す資金ができた。

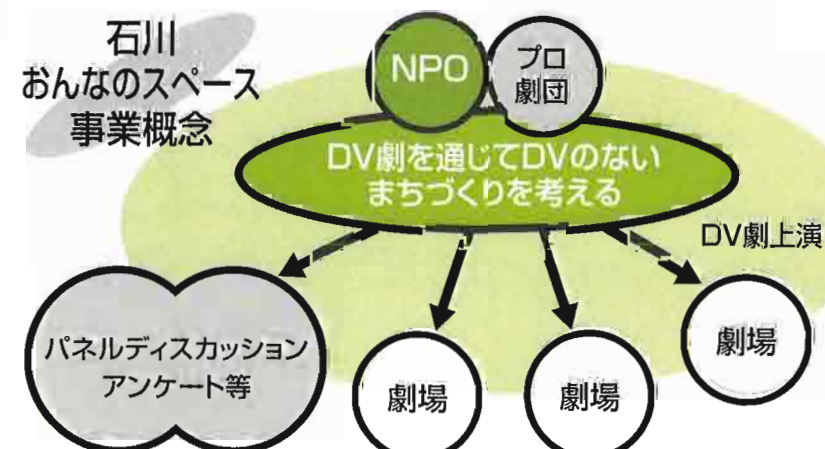
DV対策は、民間のきめ細かな支援と、行政の指導による環境づくりのどちらが欠けても十二分には機能しない。県とNPOとの協働によって、官民協力の土台づくりができる。DV対策に力を注いでいる県としても政策的なアピールもでき、メリットがあるはず。



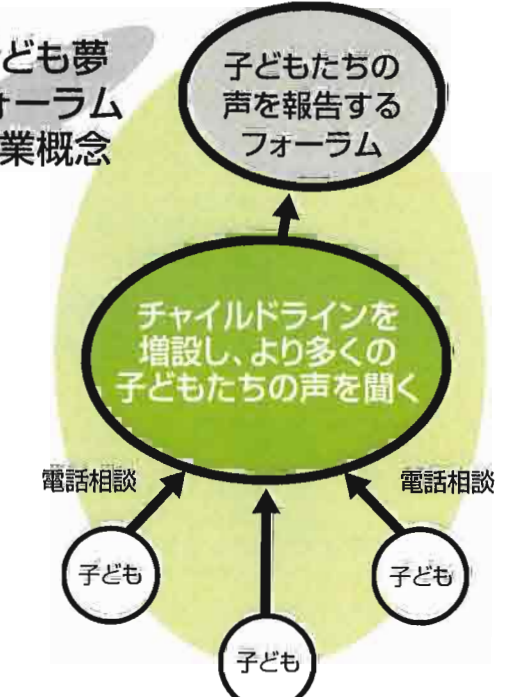
石川県くらしと環境を考える会 事業概念



石川おんなのスペース 事業概念



子ども夢フォーラム 事業概念



INFORMATION

県からのお知らせ

NPO法が改正されました

「特定非営利活動促進法の一部を改正する法律」が国会に提出され、12月11日に成立しました。

今回の法改正では、

- 特定非営利活動の種類追加
 - 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動（一部追加）
 - 情報化社会の発展を図る活動
 - 科学技術の振興を図る活動
 - 経済活動の活性化を図る活動
 - 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動
 - 消費者の保護を図る活動
 - 設立の認証の申請手続の簡素化
 - 提出書類の一部省略、統合
 - 暴力団を排除するための措置の強化
- が主な改正ポイントとなっています。
- なお、改正法の施行日は平成15年5月1日です。

NPO全国大会等への参加経費を助成します

県内のNPO（市民活動団体、ボランティア団体又はNPO法人）の関係者が、平成14年度に国内において全国規模で開催されるNPO関係のフォーラムやシンポジウムに参加するために要する経費の一部を県が負担いたします。

詳細については、下記までお問い合わせください。

石川県NPO活動支援センター
〒920-0964 金沢市本多町3-2-15
石川県社会教育会館4階
お問い合わせ先 TEL 076-223-9558 FAX 076-223-9559
URL <http://www.ishikawa-npo.jp>
e-mail npo@pref.ishikawa.jp
担当/岩城・奥

NPO・ボランティア情報

加賀地区ボランティア交流会

様々な活動分野のボランティアグループ・団体及び個人が一堂に会し、互いの情報や意見の交換を通して交流を深め、ネットワークの輪を広げることにより、ボランティア活動の一層の充実と促進を図ることを目的として、ボランティア交流会を開催いたします。

- 開催日時/平成15年1月19日（日）10:00～16:00
- 開催場所/根上町総合文化会館
- 参加費/無料

お問い合わせ先 根上町社会福祉協議会
TEL 0761-55-0073

災害ボランティアリーダー研修会

災害時におけるボランティア活動のリーダーに必要な知識や技術の普及を図り、ボランティア活動を円滑かつ効果的なものとするため、NPOやボランティアグループ等のリーダーのみなさんの研修会を次のとおり開催します。

本年度は、（特）日本災害救援ボランティアネットワークの寺本弘伸氏のご指導による災害図上訓練を通じて、災害時におけるリーダーの役割や行動のあり方等について研修していただく予定です。

- 開催日時・場所/
能登地区：平成15年2月19日（水）13:30～16:30
七尾サンライフプラザ
加賀地区：平成15年2月20日（木）14:00～17:00
野々市町交遊舎
 - 定員/各地区50名
 - 申込締切/平成15年2月10日
- 参加ご希望の方は、次までお問い合わせください

石川県NPO活動支援センター内
（財）石川県民ボランティアセンター
TEL 076-223-9558 FAX 076-223-9559
お問い合わせ先 担当/吉川・菅田

ボランティアガイド・ボランティア交流名簿の発行

石川県民ボランティアセンターでは、みなさんのボランティア活動にお役立ていただける2種類の冊子を発行しました。「ボランティアガイド」は、これからボランティアを始めたい方、ボランティアについて知りたい方を対象とした啓発誌です。

「ボランティア交流名簿」は、ボランティアグループ相互のネットワークや地域での交流に役立てていただくことを目的に、団体の活動概要を掲載したものです。

ご希望の方は、次までご連絡ください。

石川県NPO活動支援センター内
（財）石川県民ボランティアセンター
TEL 076-223-9558 FAX 076-223-9559
お問い合わせ先 担当/押田

NPO出前講座&相談会

いしかわ市民活動ネットワークセンター（i-net）では、県内各地でNPOに関する出前講座と相談会を開催しておりますが、当事業も残すところあと4回となりました。

あらかじめ相談内容をメールや電話でお知らせいただければ、資料などもご用意できます。

- 開催日時・場所/
金沢地区：平成15年1月9日（木）19:00～21:00
石川県立社会教育センター
能登地区：平成15年1月18日（土）13:30～16:00
ラピタ鹿島生涯センター
根上地区：平成15年1月25日（土）13:30～16:00
根上町総合文化会館
加賀地区：平成15年2月8日（土）13:30～16:00
山代はづちを楽堂

いしかわ市民活動ネットワークセンター（i-net）
〒920-0865 金沢市長町1-3-40
TEL 076-232-6673 FAX 076-232-6674
URL <http://www.npo.or.jp/center/i-net/>
e-mail i-net@npo.or.jp

お問い合わせ先

助成金ニュース

日本国際交流センター リーバイ・ストラウス・コミュニティ活動推進基金

●対象分野/ソーシャル・ジャスティス（社会的公正の実現）をメインテーマとして、社会的に不公正な立場におかれている人々を対象にした以下の4つの分野の日本国内での活動を支援します。

- HIV・エイズの予防
 - 経済的自立の支援
 - 新しい教育機会の創出
 - 組織基盤強化
- 対象期間/2003年8月より2004年7月までの1年
 - 助成金額/助成総額16万5千ドル（約2000万円）を予定
事業あたりの助成額上限 200万円
 - 募集締切/2003年3月19日（水）必着

（財）日本国際交流センター
リーバイ・ストラウス・コミュニティ活動推進基金
〒106-0047 東京都港区南麻布4-9-17
TEL 03-3446-7781 または 03-3446-7954
お問い合わせ先 10:00-17:00（土日祝祭日を除く）
FAX 03-3443-7580
URL <http://www.jcie.or.jp/levi/>
e-mail Levi_fund@jcie.or.jp
担当/伊藤・光前（こうぜん）

平成14年度 車両競技公益資金記念財団助成事業

- 助成対象事業/
1. 社会福祉のためのボランティア活動に必要な各種器材の整備事業
2. その他社会福祉のためのボランティア活動に係わる事業
- 助成対象主体/
（福）中央共同募金会等の推薦を受けたボランティア活動団体
- 助成金額/当該事業に直接必要と認められる経費（100万円以内）
- 申込期間/平成15年1月末日まで随時

（財）車両競技公益資金記念財団
業務部 公益振興課
〒107-0052 東京都港区赤坂1丁目9番3号
（日本自転車会館3号館）
TEL 03-3586-1355または03-3586-1356

日本環境協会 藤本倫子環境保全活動助成基金

- 助成対象/
日本国内における自発的で、継続的な環境教育や地域環境の保全などの活動（業として行う活動は除く）とします。
- 助成金総額/2,500万円
- 対象者/次の2つの条件を満たす方
 - 日本国内において、環境教育や地域の環境保全活動を継続的に行っている団体又は個人であること。
 - 日本国内の団体又は個人からの推薦があること。
（推薦者は環境問題に造詣の深い学識者や関連分野の専門家等）
- 助成金額/1活動（1申請者1活動に限る）上限30万円
- 応募期間/2003年1月31日（消印有効）

編集後記

国会においてNPO法の改正が行われ、新たに5つの分野が追加されたほか、申請手続きの簡素化などが盛り込まれました。一步一步着実に、NPOを取り巻く法整備がなされつつあります。これも、NPOのみならずみなさんの声が届いたわけで、今後ますます社会におけるNPOの役割は高まっていくものと期待しています。

NPOニュースにおいても、「あいむ」の利活用の問題やNPOを取り巻く制度上の問題を取り上げ、皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。皆さんのご意見をお寄せください。



（財）日本環境協会「藤本倫子環境保全活動助成基金」運営委員会事務局
〒105-0003 東京都港区西新橋1-7-2
虎の門高木ビル7階
TEL 03-3508-2651 FAX 03-3508-2570
URL <http://www.jeas.or.jp>

お問い合わせ先

平成15年度第1期 セブン・イレブンみどりの基金 環境市民ボランティア活動助成制度

- 対象団体/日本国内において「環境」を主テーマに活動する、市民ボランティア団体またはNPO法人
- 活動分野/(1)自然環境保全 (2)地域環境美化 (3)体験型環境学習 (4)生態系保護 (5)環境パートナーシップに基づくまちづくり・地域づくり
- 活動の種類/(1)実践活動 *最優先助成対象 (2)調査・研究活動 *実践及び啓発につながる活動を条件とする (3)普及啓発活動 (4)環境市民ボランティア間のネットワーク活動
- 対象期間/平成15年3月1日から平成16年2月29日
- 助成金額/1団体あたりの助成金上限は敢えて設定していませんが、事業内容、事務局経費等で助成対象外になる項目があります。
- 応募締切日/平成15年2月末日《必着》

セブン・イレブンみどりの基金
環境市民ボランティア活動助成事務局
〒105-0013 東京都港区浜松町1-27-9
新浜松町ビル6階
TEL 03-5733-2526 FAX 03-3435-1065
URL <http://www.7midori.org>
e-mail oubo@7midori.org
担当/高木・坂本

お問い合わせ先

「あいむ」からのお知らせ

- 本誌に関するご意見、ご要望をお寄せください。お寄せいただいたご意見等は、制作に生かすほか、本誌に掲載していきたいと考えています。

INFORMATION利用案内

- 本誌は6月、9月、12月、3月の年4回発行する予定です。情報掲載希望の方は、おのおの前月の15日までに、事業の概要（企画書、チラシ等）を郵送、ファクシミリ等でお送りください。（その際には、「いしかわNPOニュース」掲載希望とお書き添えください。）
- ファクシミリの場合は、送信後から着信の確認をしてください。
- 政治、宗教、営利を目的とする活動は掲載できません。
- 誌面の都合により、お寄せいただいた情報を掲載できない場合があります。また、事前に掲載の可否の連絡はいたしませんので、ご了承ください。
- 掲載料は無料です。
- 送り先：石川県NPO活動支援センター「あいむ」
〒920-0964 金沢市本多町3-2-15 石川県社会教育会館4階
TEL 076-223-9558 FAX 076-223-9559
担当/岩城・奥

石川県NPO活動支援センター 「あいむ」

〒920-0964 金沢市本多町3-2-15
石川県社会教育会館4階
TEL 076 (223) 9558 FAX 076 (223) 9559
URL <http://www.ishikawa-npo.jp>
e-mail npo@pref.ishikawa.jp